

■徹底攻略 ORACLE MASTER Bronze SQL基礎I問題集 正誤表（2009年7月16日更新）

書籍に掲載した試験要項が更新されましたので、最新状況にアップデートしたものを正誤表としてご用意いたしました。お手数ですが、ご確認の上、ご利用ください。

ページ	訂正部分	誤	正	備考	訂正した刷
5ページ	「Bronze SQL基礎Iの試験概要」 1行目	2004年12月	2005年11月	試験要項が変更されたため更新・修正いたしました。	2刷
5ページ	「Bronze SQL基礎Iの試験概要」 5行目	問題数 56問	問題数 40問	試験要項が変更されたため更新・修正いたしました。	3刷
5ページ	「Bronze SQL基礎Iの試験概要」 6行目	合格点 40点	合格点 28点	試験要項が変更されたため更新・修正いたしました。	3刷
5ページ	「Bronze SQL基礎Iの試験概要」 7行目	合格ライン 正答率71%	合格ライン 正答率70%	試験要項が変更されたため更新・修正いたしました。	3刷
5ページ	「Bronze SQL基礎Iの試験概要」 7行目	試験時間 120分	試験時間 90分	試験要項が変更されたため更新・修正いたしました。	3刷
6ページ	アール・プロメトリックのFAX番号	03-5441-4692	03-55 41-4692		3刷
6ページ	「日本オラクル直営会場にて受験」の4行目	なお、オラクルテストセンターでは、土日や夜間も試験を実施しています。	「誤」欄の内容を削除	会場運営スケジュール変更のため修正いたしました。	5刷
52ページ	解答3、表【論理条件の種類】の下1～2行目	または給与が3000以上の社員	または給与が3000よりも大きい社員		11刷
55ページ	第3章 解答番号17、選択肢Aの解説文、2行目	sal >= 3000は真、job='CLERK'は偽です。	sal >= 3000は真、job='CLERK'も真です。		7刷
55ページ	第3章 解答番号17、選択肢Bの解説文	3つの条件の中でsal>=3000だけが真となり、その他は偽となります。	3つの条件の中でsal>=3000とjob='CLERK'が真となり、deptno in(20,30)は偽となります。		7刷
56ページ	第3章 解答番号17、選択肢Dの解説文	3つの条件の中でsal>=3000だけが真となり、その他は偽となります。	3つの条件の中でsal>=3000とjob='CLERK'が真となり、deptno in(20,30)は偽となります。		7刷
71ページ	問題31の問題文	NULL値を、NULLでない値に変換しない関数はどれですか。	NULL値を実際の値に変換するなどNULLの使用に関係する関数でないものはどれですか。		5刷
77ページ	解答12	trunc(300,1)は300の小数点第2位を四捨五入し…	trunc(300,1)は300の小数点第2位を切り捨て…		10刷
84ページ	解答27の2行目	TO_CHAR('16-NOV-2004','DD-MM-YYYY')	TO_DATE('16-NOV-2004','DD-MM-YYYY')		11刷
85ページ	解答31の1～2行目	文字関数、数値関数、日付関数および変換関数以外の一般関数として、NULLを処理できる関数は次のとおりです。	どのデータ型でも機能し、NULLの使用に関係する関数は次のとおりです。		5刷
85ページ	解答31のDECODE文の次の1～3行目	NVL、NVL2、COALESCEの各関数はNULL値をNULLでない値に変換できますが、DECODE関数はIF～THEN～ELSE型の条件処理を実行する関数であり、NULL値を扱うことはできません。	NVL、NVL2、COALESCEの各関数はNULL値を実際の値に変換するときを使用しますが、DECODE関数はIF～THEN～ELSE型の条件処理で使用します。		5刷
105ページ	第6章、問題6の選択肢A、3行目	join dept d on j.deptno=d.deptno;	join dept d on j.deptno=d.deptno;		7刷
120ページ	解答1の(3) 等価結合と非等価結合の<注意>1行目	前述の	前述の	誤字を修正	11刷
187ページ	解答5、6～7行目	同じ構造のCOPY_EMP表全列に追加しています。	同じ構造のCOPY_EMP表全列に追加しています。	誤字を修正	11刷
206ページ	問題45の⑤	insert into dept values(30,'ACCOUNT');	insert into dept values(30,'ACCOUNT');	誤字を修正	11刷
214ページ	解答19の最下行	11-NOV-04 01.00.00.0000000 AM +08:00	11-NOV-04 01.00.00.0000000 PM +08:00		11刷
224ページ	第10章 解答42、下から2～3行目	選択肢DはROWNUM擬似列を使っているのでエラーになります。	選択肢EはROWNUM擬似列を使っているのでエラーになります。		7刷
226ページ	回答48の4行目	式SAL*12	式SAL*1.2		7刷
254ページ	第11章 解答29、下から4～3行目	また、実際に生成される最大値は、10ずつ増分するので990になります。	また、実際に生成される最大値は991（はじめは990まで生成し、繰り返したあとは1から始まり991まで生成する）になります。		7刷
258ページ	解答46、【CREATE INDEXの基本構文】	CREATE INDEX 索引名 ON 表名 (列名,[列名]…);	CREATE INDEX 索引名 ON 表名 (列名,[列名]…);		3刷
274ページ	第12章 解答23、1行目	COMMENT ON EMP IS “;	COMMENT ON TABLE EMP IS “;		7刷
297ページ	問題6<スクリプトファイル> 3行目	undefined EMPLOYEE_NO	undefine EMPLOYEE_NO	誤字を修正	7刷
319ページ	【参考情報】 回答18	読者の方より以下の質問をいただきましたので、参考に掲載いたします。「解答18に『デフォルト書式以外で日付データを重力する場合はTO_DATE関数を使いませう」とありますが、問題は以下のような出題になっています。 日付書式がデフォルトの場合、日付データ2002/03/03 16:00を入力するときの指定方法として正しいものを選びなさい A.to_char… B.to_date… C.to_char… D.to_date… 日付書式がデフォルトですが、解答がto_dateとなるのは、なぜでしょうか？	第4章の解答13 (P.77) に「日付書式とは日付データの表示書式、または日付データの入力時の指定形式を示す。」という記述がありますとおり、第15章問題18の問題文の「日付書式がデフォルト」というのは日付データの表示書式のことです。オラクルでは、日付データを表示したり、入力するためにシステム全体で一つの書式が決まっています。デフォルト書式はDD-MON-RRです。ただし、これをグローバル化セッション関連パラメータ (NLS) を使い変更できます。システム全体の書式を変えたり、セッション単位にも変更できます。通常、日本語環境の時はRR-MM-DD (YYYY-MM-DDも入力可) に変更します。第15章問題18の問題文の「日付書式がデフォルト…」は、DD-MON-RRを指しています。デフォルト書式でない日付データ2002/03/03 16:00を入力するためには、to_date関数を使い、入力する日付データの書式を指定しないと、オラクルは正しく解釈できません。	誤記ではありませんが、参考情報として掲載いたしました	—
320ページ	解答21、10～11行目	to_date('19_NOV_04','DD-MON-RR')	to_date('19-NOV-04','DD-MON-RR')	誤字を修正	11刷
321ページ	解答24、2～3行目	自然結合では、共通列の列名を表修飾することはできません。	自然結合では、共通列の列名を表名で修飾することはできません。		11刷
322ページ	解答24、3行目	選択肢Cは表修飾していません。	選択肢Cは表名で修飾していません。	誤字を修正	11刷
322ページ	解答24、6～7行目	共通列の列名を表修飾しなければエラーになります。	共通列の列名を表名で修飾しなければエラーになります。		11刷
322ページ	解答24、8～9行目	表修飾は、表別名が指定されている場合、すべて表別名で修飾する必要があります。	表修飾は、表別名が指定されている場合、表名ではなく、すべて表別名で修飾する必要があります。		11刷